

# Shining ほいく



第42号 令和5年2月27日：編集・発行 保育運営課 研修担当

『shining ほいく』は研修の振り返りと実践への活用を目指し発行する機関紙です。研修受講後に保育の質の向上に向け学んだ内容を実践に繋げていく中で『shining ほいく』を活用していただけたら幸いです。

～「shining ほいく」お役立ちポイント～

- ① 「この間の研修どんな研修だった？」と話すときに『参考になる。』
- ② 他園で研修をどのように活用しているか知りたい時に『ためになる。』
- ③ 保育を見直したい時になるほど！と『気づきがある。』



～板橋区乳幼児期の保育・教育ガイドライン研修に学ぶ～

『保育の質の向上をめざして』

講師：保育のデザイン研究所 川辺 尚子 氏

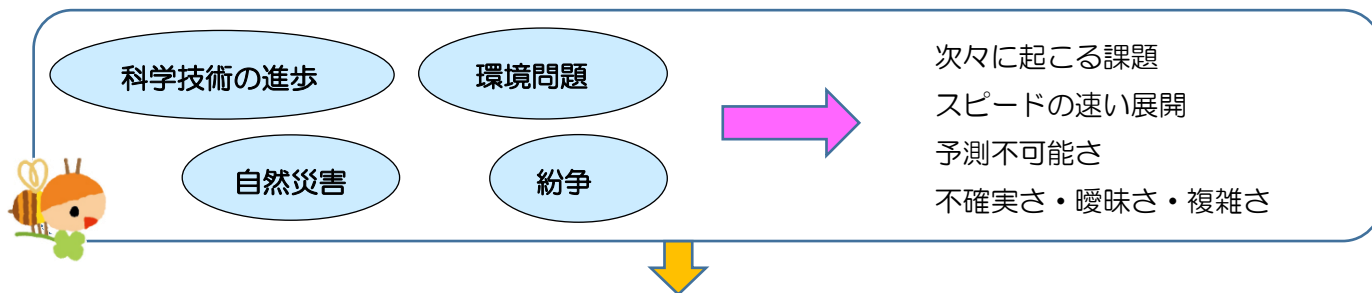
※『保育の質』は何を基に理解し、どのように向上させていけばよいのでしょうか？  
ガイドラインを基に、指針に立ち返り大切なことを共有しましょう。

## \*子どもたちの未来につながる「幼児教育・保育」\*

◎平成29年には…

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の同時改訂（改定）  
同時に小学校以降の学習指導要領も改訂された

◎その背景にあるもの…



◎複雑で様々な課題を解決する力が必要：特に乳幼児期の教育が重要になる！

～粘り強く取り組む力はあと伸びする力に繋がる～

乳幼児期を主体的・協同的に過ごすことの大切さが研究などであきらかになってきた！

### 主体性

- \*主体的に参加する力
- \*自ら判断して行動する力

### 協同性

- \*仲間と協力する力
- \*コミュニケーションの力

### 主体的・対話的で深い学びを！！

気付く、興味を持つ、関わる、感じる、考える、試す、挑戦する、工夫する、  
粘り強く取り組む、出来るようになる等の経験

★世界規模で、教育改革が進められている⇒日本でも乳幼児期から一貫して『学び続ける人』を育てよう！

《研修資料参考》



ここからは、研修受講後、各園で行った園内研修から、皆さんが研修を通して学んだこと、**ワーク**の中で感じたこと、意見、様々な手立てをまとめました。

### 研修報告、ワークの目的

- ・「保育の質とは何か」について考えてみる。
- ・保育の質について共有、理解し、向上させるために保育で大切にしていけることを確認する機会とする。

## ワーク1 大切にしたい子どもの姿を語ろう

\*「こういうことに夢中になっていた」「こんなことを繰り返し取り組んでいた」といった、改めて考えるとおもしろいなと思ったことなど。（ネガティブな姿はNG）

### \*大切にしたい子どもの姿\*

泣いている友だちを気遣う  
困っている時に『どうしたの?』と声を掛けてあげる姿

友だち同士で問題解決  
しようとする姿

友だちや保育士と楽しく遊ぶ姿  
子どもらしくのびのびと遊ぶ姿

じっくり遊び興味を広げたり  
突き詰める姿

自分の得た知識を元に周りへの  
発信を様々な形でしていこうと  
する意欲

自分たちの発想で遊びを展開し  
目を輝かせる姿

出来て嬉しい瞬間、出来た喜びを  
受け止め合う姿

虫探し、好きな玩具、絵本等を繰り返し楽しむ姿

友だち同士のやり取りが広がり  
夢中になる姿



### \*ワーク1を行って感じたこと\*

子ども達の良いエピソードを生き活き  
とした表情で話し合い共感しあえた

同じ方向を向いて保育を進めるためにも話し合う  
ことの大切さを実感できた

語り合うことで一人ひとりの保育への  
思いが分かり共有できた

子どもの姿をポジティブな視点で捉え  
大切にすることが、保育では重要



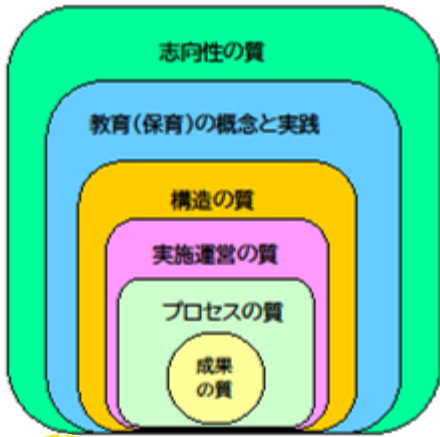
## ワーク2 「保育の質を向上させる」とは

\*何をどのようにしたら良いのでしょうか。研修も受けているし…日々の保育も大変なのに『質』どころではない…そう悩む現場も少なくありません。『こんなことなら出来るかも』の一步を見つけるために、みんなで考えてみましょう！



### 7-73 構造として捉えよう

\*7-72で出た意見が構造（下図）のどこに含まれているかを確認してみましょう。



《研修資料参考》

志向性の質	政府や自治体が示す方向性	法律、規制、政策等
教育(保育)の概念と実践	指針、要領等で示される保育の概念や実践	保育所保育指針に示される保育のねらいや内容
構造の質	物的・人的環境の全体的な構造	園舎や園庭、遊具や素材、教材等 保育者の養成と研修、保育者と子どもの人数比較、クラスサイズ 労働環境等
実施運営の質	職場のニーズへの対応 質の向上、効果的なチーム形成等のための運営	園、各クラスの保育計画、研修参加の機会、実践の観察・評価・省察の確保、柔軟な保育時間等
相互作用あるいはプロセスの質	保育者と子ども達、子どもたち同士、保育者同士の関係性	子ども達の育ちをもたらす、安心感や教育的意図などを含みこむ 保育者や子どもたちの関係性
子どもの成果の質	現在の、そして未来の子ども達の幸せ(well-being)につながる成果	何をもって成果とするかは各々の価値観によって異なる

構造のどこに含まれているかを色で分類… ●●●●●

#### \* 保育の質を向上させるとは \*

子どもの姿を話し合い様々な視点からの捉えを共有する ●

研修等に参加し情報交換しながら自分の保育に新しい風を入れる ●

子どもの主体性を大切にし、主体的に遊べる環境をつくる  
子どもの『出来る力』を信じて待ち、子どもの喜びに共感できる保育 ●●●

職員間のコミュニケーションと情報共有  
職員のライフワークバランスを大切にし健全な体と心に余裕を持って保育をする ●

職員全体が『自分事』として考えられるような気風をつくりチーム力としていく。【子どもたちの思いに応える受容的で応答的な手立てを出し合い子どもたちの発想を具現化する際のパワーにする：気になる子の行動への様々なアプローチを持ち寄り精査する等】 ●●●●●

子どもの気になる行動を『子どものせい』にせず、自分も含めての環境を見直したりアプローチを換えていける柔軟性を持つ。 ●●

子どもの今をしっかりと見て、子どもの「やりたい」を逃さず拾う  
子どもの気持ちに寄り添い柔軟な対応を行い、保育士同士が協力する ●●



#### \* 講義内容より \*

#### \* カリキュラム・マネジメントとは… \*

～保育の質の向上には欠かせないのが『カリキュラム・マネジメント』～

全ての職員が**目指す方向を理解**し、それぞれの立場で**園全体の問題として考える**。課題があったら、一人で悩まずに、**組織の課題として共有**し、相談したり、助け合ったりしていく。《自身の振り返りや評価⇒周りの保育者との共有⇒話し合いアドバイスをもらうなどして客観的な視点から保育を見つめなおす》

**PDCA** サイクルがポイント！ **Plan** 計画を立てる **Do** 実行する **Check** 評価する **Action** 改善する

#### \* 困っていることを共有できる集団に！ \*

本当はよく分からないけど、今更言えない…  
私は、なぜかいつもうまくいかない…  
新しいアイデアが浮かばない… 合っているのか心配…  
保護者との関係がギクシャクしてきた…

#### 不安を抱えている人は、少なくない！

困っていることを  
まずは言葉にしてみよう！！



《研修資料参考》

**7-74 こんな時、どうしているの？**…保育の中で困ること、みんなで共有してみよう。

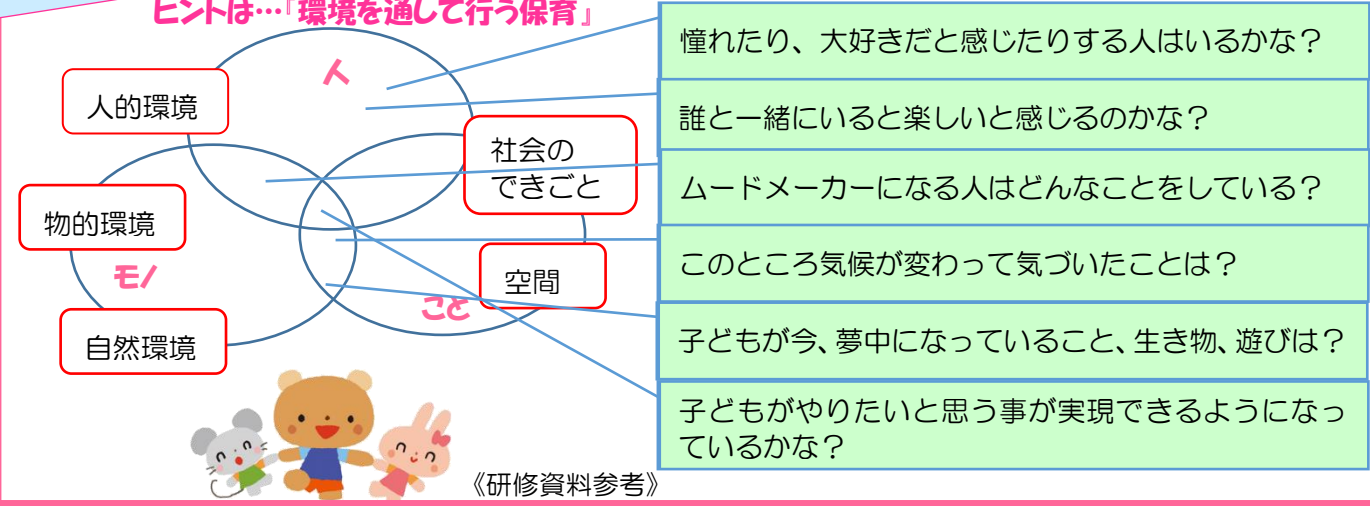
**7-75 子どもの願いや思いに沿った環境を考えよう**

\*7-74で出された中で最も話し合いたい事例（テーマ）を基に、子どもの願い、思い、やりたいことは何かを保育ウェブ式に書き出していきましょう。

\*子どもの願いや思いに対して、受容的・応答的な手立てを考えましょう。

**\* 講義内容より \***

ヒントは…「環境を通して行う保育」

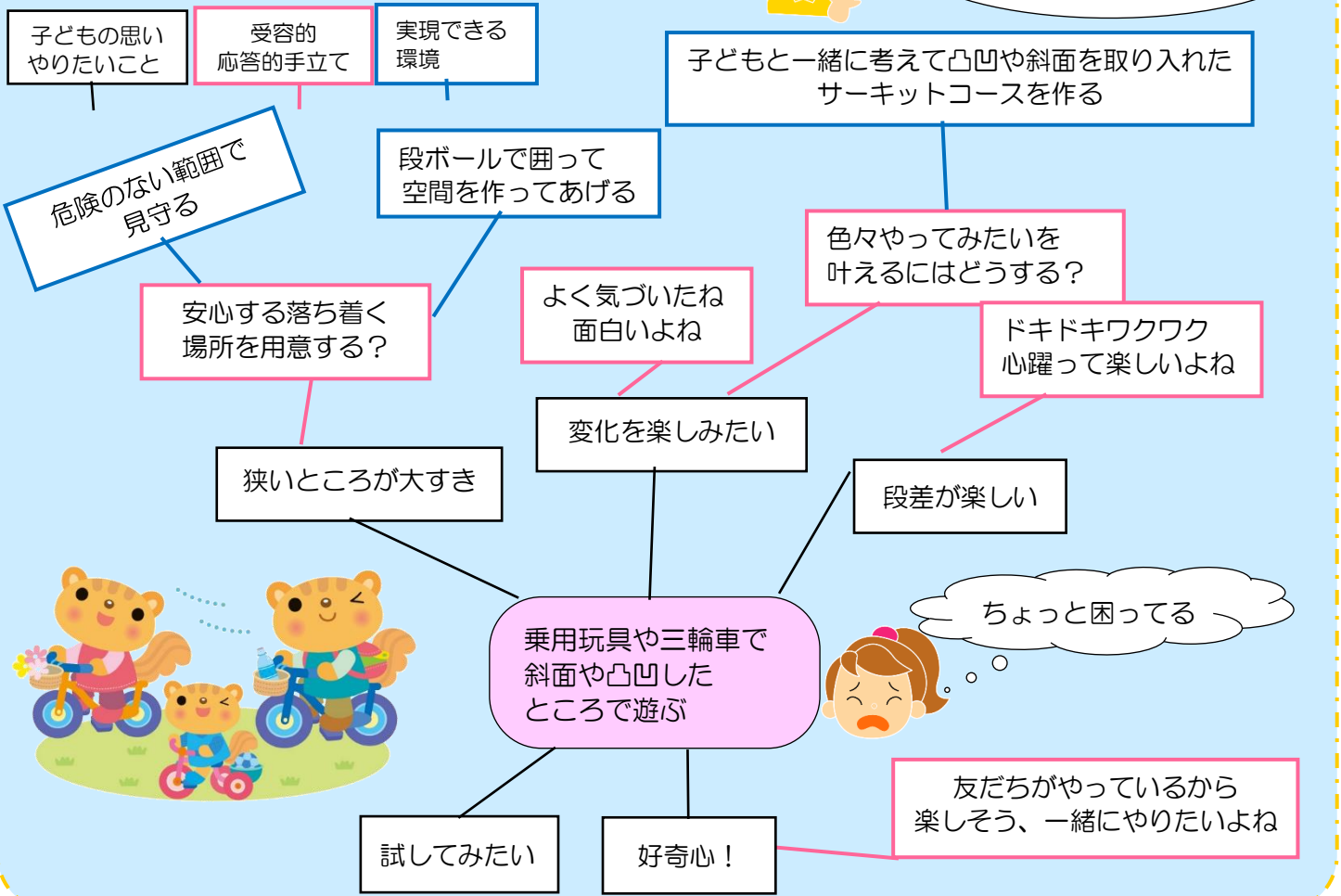


**\* 新河岸保育園 \***

**7-75 子どもの願いや思いに沿った環境を考えよう**  
(保育ウェブ式)



子ども達の『やりたい』  
に答えられそう！



\* 講義内容より \*

### \* 質の向上のための保育者の学びとは \*

#### 【主体的】

私はこんなことを感じた  
こんなことを考えた  
こんなことをしてみたい

#### 【対話的】

あなたの感じたことがいいね  
その考え、おもしろそう  
一緒にやってみようか！

保育

子ども

語り合っているうちに、やってみたいことが見付き  
試していく過程の中で学びになっていく

深い学びへ

《研修資料参考》

### \* 私たちもまだ育っている！ \*

#### 育みたい資質・能力の3つの柱

- ◎豊かな体験を通じて感じたり気付いたり分かたりできるようになる  
『知能及び技能の基礎』
- ◎気付いたことや出来るようになったことを使い考えたり試したり  
工夫したり表現する  
『思考力、判断力、表現力などの基礎』
- ◎心情・意欲・態度が育つ中で、より良い生活を営もうとする  
『学びに向かう力、人間性等』

わかる・できる  
気づく・知る

考えたり・試したり  
工夫したり

粘り強さ・自己調整  
楽観性

《研修資料参考》

#### ☆研修を受講して感じたこと☆



- ・保育の質の向上に関して自分の意見を文字にして他者とすり合わせることで、漠然としていたものが整理することができた。また、他者の意見に触れることで、新たな発見をすることができた。
- ・たくさんの保育士がいる中で、保育観がずれて意見が合わないことがあっても、選択の幅が増えて問題解決につながると学び、とても共感した。
- ・子どもは「幸せの経験を増やしていくことが大切」と言っていたので、色々な体験をし、そこからたくさんの刺激を受けられるような保育を展開していきたいと思った。

#### \* ワーク2~5を行ってみて... \*

各クラスが抱えている困りごとや職員の保育に対する思いを聞くことができた。今後も語り合いながら保育の質を高めていきたい

この実践を通し、語り合うことで保育の中で大切にすべきことを改めて確認し合うことが出来た。組織力を高め、保育の質の向上を目指したい。

普段、話す機会が少ない職員同士が『困っていること』を共有し、話し合うことが出来た。一人の職員が困っていることを園全体で共有することや『話し合いの文化』を大切にしていくことの重要性を伝えることが出来た

年齢や経験年数にとらわれず保育への思いや気づき相談など、より気軽に話せる職場環境を作っていきたい

普段、頭の中だけで考えていたことを文字にすることで順序だてて考えることができ、客観的に捉えられたり、色々な視点からアイデアが出て良かった

